

## 2023年度 岡山裕 研究会(アメリカ合衆国の政治) 募集要項(3次)

当研究会では、以下の要領で新3年生の受講生(14期生)の3次募集(若干名)を行います。ご関心のある方はよく読んで応募ください。

### 本研究会のねらい

この研究会は、アメリカ合衆国の政治を扱います。アメリカについては日本でも日常的に多くの情報が入ってくるので、なんとなくわかった気になりがちですが、いざアメリカでなぜあることが起きるのかを説明しようとする、難しいことが多いのではないのでしょうか。例えば、政党政治家でもなかったドナルド・トランプがなぜいきなり大統領になれたのか、といったこと一つとっても、説得的な説明は簡単ではありません。

当研究会では、アメリカ政治の研究を通じて受講者が筋道立って考え、きちんと議論できるようになることを目指しています。アメリカについて色々読んで意見交換するだけでなく、各自でテーマを設定して独自の研究を進め、教員や他の受講者と議論しながら卒業論文につなげていきます。

授業時に全体で扱うのは、歴史も含めたアメリカの内政ですが、個人研究のテーマはアメリカに関わることならなるべく幅広く認めることにしています。日本でも比較的多くの情報にアクセスできるので、工夫次第で色々な研究ができます。近年の卒業論文のトピックをみても、州知事によるコロナ対策、プロスポーツ選手の政治的意思表明、日系アメリカ人の強制収容に対する補償の実現など、バラエティに富んでいます。

授業時では課題文献の講読もしますが、徐々に受講者による研究の成果発表の機会も増えていきます。また例年は、通常の授業以外に夏合宿、神戸大学の安岡正晴ゼミナールとの合同ゼミ、OBOG会、卒業論文報告会などを開催しています。なるべく皆さんの交流の場を充実させたいと考えています。和やかさと知的緊張感の両立を重視して運営しています。

なお、この研究会は水曜の4・5限に、3・4年生合同で実施します。両方の時限に参加できることが、入会の条件になりますのでご注意ください。上下の学年ともつながりができ、時間的にもじっくり議論できるというメリットがあると考えています。

### 応募方法

以下の課題を予め提出していただき、2023年3月14日(火)に担当教員とのオンライン面接(現役ゼミ生の同席可能性あり)を予定しています。

#### 提出課題

以下二つの課題に取り組んでください。いずれの課題についても、信頼できる文献を参照し、適宜註をつけるようにしてください。評価にあたっては、課題の出来もさることながら、正面から取り組んでいるかどうかを最も重視します。

#### 課題1: 研究計画

当研究会でやってみたい研究を、その方法も含めて2000字以上でなるべく具体的に説明してください。

#### 課題2: アメリカの民主主義は後退しているか?

次の書物を読み、500字程度でその議論の骨子をまとめたうえで、それを踏まえつつ、この書物が出版された後のアメリカの民主主義の状態をどう捉えられるか、根拠を明確にしながら3000字以上で論じてください。

スティーブン・レビツキー、ダニエル・ジブラット(濱野大道訳)『民主主義の死に方——二極化する政治が招く独裁への道』(新潮社、2018年)

## 応募の手順

マイクロソフト・ワード形式のファイルの最初のページに氏名、所属学部・学科、学籍番号、電子メールアドレス、統一選考当日に連絡のとれる電話番号を記載したうえで、1段落程度で簡単な自己紹介を書いてください（今後2年間に留学の予定がある場合は、ここでその旨記してください）。そのうえで、二つの課題をそれぞれ新しいページから記載してください。

上の課題ファイルと、最新の成績表のスクリーンあるいは写真にとったもののファイル（選考の参考にします）の二つを、担当教員宛電子メールの添付ファイルとしてお送り下さい。受信を確認し次第、その旨返信するので、1日以上経っても返信のない場合は確認の連絡をとってください。提出の遅れや他の手段による提出は認めませんので、余裕を持って行動すること。

送付先アドレス： okayama@keio.jp （件名を「研究会応募」とすること）  
締め切り： 2023年3月12日（日）（厳守）

意欲ある皆さんの応募をお待ちしています。質問などあれば、上のメールアドレスまで遠慮なくご連絡ください。